意見書・決議の審議結果

※　可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。
　　要旨原稿は提案議員が作成しています。

【会派略称】
公：小金井市議会公明党　民：小金井市議会民進党　リ：リベラル保守の会
ネ：生活者ネットワーク　緑：緑・市民自治こがねい　改：改革連合
会：こがねい市民会議　小：小金井自由民主
自：自由民主党小金井市議団　共：日本共産党小金井市議団

○：賛成　×：反対　△：退席　議：議長（原則、採決には加わらず）

		自					共				公				民		リ		ネ		緑		改	会	小	議決結果
		吹春やすたか	湯沢綾子	中山克己	遠藤百合子	中根三枝	水上洋志	関根優司	板倉真也	森戸洋子	渡辺ふき子	小林正樹	紀由紀子	宮下誠	鈴木成夫	岸田正義	百瀬和浩	渡辺大三	田頭祐子	林倫子	坂井えつ子	片山薫	篠原ひろし	斎藤康夫	露口哲治	
無料公衆無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）環境の整備促進を求める意見書	観光庁の平成26年度「訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関する現状調査」によると、旅行中最も困ったことは無料公衆無線ＬＡＮ環境が30.２％と最も高かった。公共交通機関や宿泊施設等の民間施設、日本遺産等の観光拠点や観光案内所のＷｉ－Ｆｉ環境の整備促進、自治体への財政的支援措置拡充等を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	議	○	○	原案可決
生物多様性の宝庫である沖縄高江の自然と、住民の暮らし・安全を守ることを求める意見書	住民の80%が建設に反対する沖縄高江のヘリパッド建設工事では、広大な面積のやんばるの森が伐採された。生物多様性の宝庫の森林破壊は、地球上にとっても取り返しのつかない事態である。民意を無視した建設工事は人々の生活を脅かす。地元自治体、住民の意見を尊重し、生活の安心と自然環境の保全を図るよう求める。	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	原案可決
横田基地へのオスプレイ配備の撤回を求める意見書	沖縄ではオスプレイの重大事故が起こる中、オスプレイを横田基地へ配備することに、不安や不満の声が上げられている。基地周辺には住宅が密集し、小中学校、保育園、病院、老人ホームも多数あり、事故が起これば大惨事になるのは明らか。横田基地に住民の理解や墜落事故の徹底検証なしに配備しないよう、その撤回を求める。	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	原案可決
東京五輪費用の全面的透明化を求める意見書	昨年12月に発表された組織委員会予算、その他経費及び全体像について、各事項ごとの詳細な根拠を速やかに公表するとともに、その後も定期的に状況を公表すること。ロンドン五輪の事例等を参考に、削減や収入確保策について第三者がチェックし、開催都市の東京都が都民参加で検討できる仕組みをつくること等を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	原案可決
福島第一原子力発電所事故処理費用の託送料金への上乗せに反対し、原発再稼働方針の撤回と再生可能エネルギーの推進を求める意見書	原子力発電に係る費用は電力会社が負担し、事故処理費用を託送料金へ上乗せすべきではない。国民もいずれ負担を負うべきかもしれないが、まずは、政府や東京電力自らが全面的に負担を受け入れ、重大事故の責任を謝め、謝罪を行い、国民に理解を求めるべきである。原発再稼動方針の撤回と再生利用エネルギーの推進を求める。	△	△	△	△	△	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	原案可決
医療・介護・年金の負担増を行わず、安心できる社会保障制度を求める意見書	政府は社会保障費の自然増分1,400億円を削減するため、医療、介護、年金のそれぞれの分野における国民の負担増を予定している。貧困と格差が広がる元で、暮らしをますます疲弊させる負担増は行わず、国民の暮らしと権利を支える社会保障の役割を発揮し、安心の社会保障への拡充へ予算を転換させることを求める。	△	△	△	△	△	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	△	原案可決
文部科学省の天下りあっせん疑惑の徹底解明を求める意見書	文部科学省が前高等教育局長の早稲田大学への天下りをあっせんしていた問題について、全容の解明が求められている。税の無駄遣いの官製談合の温床になるなど、政官業の癒着を生む天下りの一掃は急務である。政府に対し、文部科学省による天下りあっせん疑惑を徹底解明し、今後の禁止の方策を明らかにすることを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	原案可決
原発事故避難指示区域外避難者への住宅支援の継続を求める意見書	自主避難者への家賃や転居費用などの経済的支援を早急に実施すること。都営住宅などの入居要件を撤廃もしくは大幅に緩和すること。民間賃貸住宅の継続居住に関し、各自治体のサポートを行うこと。国は、継続した被災者支援のため法整備を行うこと。当面、現行の災害救助法に基づく住宅提供を継続すること等を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	原案可決
テロ等準備罪法案（共謀罪法案）の国会提出の中止を求める意見書	政府はオリンピックの開催を理由に、２人以上で話し合って合意することが犯罪に問われる「共謀罪」法案を提出しようとしている。政府はテロ対策を目的とし、対象を絞り込むとしているが、テロ組織の定義を説明できていない。思想・内心を取り締まる違憲の法律は時代を逆行させるものである。法案提出の断念を強く求める。	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	原案可決
市区町村議会が、都道府県議会へ意見書を提出できるよう所要の法改正を求める意見書	現行法上、市区町村議会は都道府県の意思の最終決定機関である都道府県議会に意見書を提出することができない。本来その市区町村の公益に関することに限られるはずの意見書の内容が何でもありになっていることも問題である。公益に重大な関わりがある事件について、都道府県議会にも意見書を提出できるよう法改正を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	原案可決

テロ等準備罪防止法案（共謀罪法案）の国会提出の中止を求める意見書

賛成討論（要旨）

森戸洋子（日本共産党）

共謀罪法案では対象の犯罪を減らしたというが、277の犯罪全てが対象となっている。政府はテロを口実にしているが、テロに対しては、既にテロ防止の13の国際条約を締結し、57の国内法がある。組織的犯罪の「組織」には労働組合が含まれ、メールやライン等の日常会話も共謀とみなされる。思想や内心の自由を侵す危険は避けられない。人権抑圧の法案は、戦前の治安維持法と変わらないとの批判が広がっている。法案提出の中止を求め、意見書に賛成する。

賛成討論（要旨）

田頭祐子（生活者ネット）

共謀罪と同趣旨の「テロ等準備罪」の対象犯罪として、政府は277の罪名を示した。法務省は、普通の団体が性質を一変させた場合も、処罰対象の組織的犯罪集団に成り得るという、政府見解を示した。つまり、市民団体、労働組合、企業なども、処罰対象と成り得ると事実上認め、思想・信条、内心の自由を侵し、広く市民や団体を監視することになる。さらに警察の日常的監視や密告社会を招く。人権と平和で自立した市民生活を守るためにも、この法案に反対する。

賛成討論（要旨）

坂井えつ子（緑・市民自治）

取締りを強化し、罰則を規定すればテロを未然に防げるとは考えにくい。テロが起こる背景には、相手を同じ人間として尊重せずに、違いを理由に排除しようとする「差別や偏見」があると考える。テロ行為はあってはならないものということは断言しておく。

政府が優先して行うべきは、「どうしたら差別や偏見をなくせるか」を議論し法整備を行うこと、格差・貧困対策などテロを起こさない社会をつくることである。

審議未了となった案件

次の案件は、４月４日に議員の任期が満了したことに伴い、議会運営委員会の案件は廃案となり、各特別委員会の調査は特別委員会とともに消滅しました。

議会運営委員会

①次期定例会（臨時会を含む。）の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査
②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査
③議会運営に関する議長の諮問事項について

行財政改革調査特別委員会

行財政改革に係る諸問題の調査

資源循環型社会推進調査特別委員会

廃棄物の３Ｒ（リデュース＝発生抑制・リユース＝再使用・リサイクル＝再生利用）を推進し、循環型社会を構築するための調査

委員会の調査案件

次の案件は、各委員会で総括の意見・要望（感想）の発言を行い、調査を終了し、３月９日の本会議で調査報告を行いました。

厚生文教委員会

▶所管事務調査（2025年問題に向けての地域包括ケアシステム構築に関する諸問題の調査）
▶所管事務調査（子どもに関する諸問題の調査）

建設環境委員会

▶所管事務調査（駅周辺の開発・整備に係る諸問題の調査）
▶所管事務調査（小金井市の環境政策推進に係る諸問題の調査）

総務企画委員会

▶所管事務調査（公共施設の再配置及び庁舎建設に係る諸問題の調査）

議会運営委員会

▶議会改革に関する諸問題の調査

議会中継のインターネット配信をユーチューブに統一します

小金井市議会では、本会議・委員会等の様子をインターネットで配信しています。これまでは、ユーストリームで中継配信し、ユーチューブで録画配信していましたが、今後はユーチューブに統一します。（ＵＲＬは今までと変更ありません。１面下段に掲載）

なお、ユーストリームでの配信は行わなくなりますので、ご注意ください。